

「共に生きるまちづくりのために私ができること・取り組みたいこと」

1. タイトル「みんないっしょ！災害のマメ知識～知ってよかった勉強会」

2. なぜその提案（できること・取り組みたいこと）を思いついたか

障害があってもなくても誰もが狛江市で生活しやすい街を目指して～障害・性別・年齢・国籍

いま・・・個々に活動（みんな一生懸命活動している！）

良い活動をしていながら一般市民に見えていない

- ・一般の方に知る機会が少ない？のかな・・・
- ・他の活動と交流が少ないの？かな・・・

何をすればよいのかな？ どうすればよいのか

- ・隣近所・地域・まちにどんな人が住んでいる？のかな・・・ もっとコミュニケーションの場を！



同じ場（イベント）で共通のテーマを**学び+語り合う**…こういう場があれば「**知り合い**」になれるかも

何を「テーマ」にしようか？ …私の特技（応急手当・防災・減災の知識・技術）

大災害（地震・台風など風水害）が発生したら！

避難しても、お互い（避難所側・避難者⇄災害弱者）どうすればよいかわからない？？？かも・・・

みんなで応急手当、防災・減災の知識技術を学んで**安心** ➡ 学びの場で**知り合いが増える**↑↑↑

3. その提案を実践することで地域がどのようになればよいと思うか

共生 (inclusion):

障害の有無、性別、年齢、国籍などに関係なくお互いに支え合いながら誰もが暮らしやすいまち

知り合う⇒お互いを受け止める・認める⇒**障害のない 共生のまち** 😊 !

国境も 障害もない みんなが笑顔のまち


DIVERSITY
illustration



タイトル	「みんないっしょ！災害のマメ知識～知ってよかった勉強会」
立案者の 思い	<p>障がいがあってもなくても誰もが狛江市で生活しやすい街を目指すためには、まずは隣近所、地域にどんな人が住んでいるのか、お互いに知るために、コミュニケーションの場が大切です。</p> <p>同じ場所で共通のテーマを学び語り合うことで、市民同士コミュニケーションを取ることができ、さらに知り合いが増えます。テーマは、私の特技の災害の知識を学ぶ場にしてはどうかと考えました。</p> <p>お互いを知り、お互いを受け止め、認め合うことから、障がいの有無、性別、年齢、国籍などに関係なく、お互いに支えながら誰もが暮らしやすい共生のまちを実現できると思います。</p>